

## **イノシシに出くわしたら**

イノシシは本来、臆病でおとなしい性質を持っています。普通、イノシシと出くわしてもイノシシの方から逃げるので慌てる必要はありませんが、興奮していたり、発情期（晩秋～冬）や分娩後で攻撃的になっていたり、至近距離で突然出くわした場合には注意が必要です。

事故を防ぐために、イノシシと出くわした場合は次のことに注意してください。

## **落ち着いてゆっくり行動しましょう**

イノシシに出くわしたら、気づかれないように静かにその場を離れるようにしましょう。急に走り出してイノシシを興奮させないこと。イノシシが興奮している場合は、後ろを向くと襲ってくることもあるので、なるべく背中を見せないよう、ゆっくりと後退するようにしましょう。

たてがみを逆立てて、明らかに威嚇している状態でなくても、シュー、カッカカッカ、クチャクチャクチャという音をイノシシが発していたら、威嚇音ですので注意する必要があります。

## **攻撃したり、威嚇したりしてはいけません**

棒を振り上げたり、石を投げたりしてイノシシを追い払うなどの行為は大変危険です。逆上したイノシシが向かってくることもあります。

## **うり坊を見かけても、近づいてはいけません**

体色が縞模様のうり坊（イノシシのこども）を見かけても近くに母イノシシがいる可能性が高いので、近づいたり追いかけたりしてはいけません。

また、かわいいからと食べ物を与えることはしないでください。人への警戒心を低下させ、人が食べ物の供給源だと学習させることにつながります。

## **どうしても接近を避けられない場合は**

イノシシと出くわしたらその場を離れるのが一番ですが、人がいる方向に逃げ場所が限られる場合などには接近してることがあります。接近が避けられない場合は、イノシシに逃げ道を明け渡しつつ、安全な場所に緊急避難しましょう。

安全な場所とは、イノシシから人が見えない場所やイノシシが簡単に登れない場所です。立木に登るのも有効な方法です。

## **その他 イノシシの活動時間など**

イノシシの活動時間は、基本的には、昼行性で日中に採餌のため徘徊しますが、人間活動による二次的な習性で夜行性も示します。市内では、主に夕方から早朝にかけて目撃されています。

イノシシも含め有害鳥獣が生息しやすくしないよう、食物残渣（人間が出した生ごみや収穫されない果実や野菜）は適切に処分しましょう。勿論、餌付けは厳禁です！餌付けにより人に慣れ人を恐れなくなったイノシシは、買い物袋を下げた人などを襲撃するようになります。

## **イノシシを目撃したら**

安全な場所に避難したら、坂東市役所に連絡ください。